

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	南加瀬こども文化センター	評価対象年度	平成22年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	所管課	市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課

2. 事業実績

利用実績	1 南加瀬こども文化センター ①年間延べ利用者数 27,327人 ②年間延べ利用団体数 484団体 2 南加瀬小学校わくわくプラザ ①登録者数 211人 ②年間延べ利用者数 13,910人 3 夢見ヶ崎小学校わくわくプラザ ①登録者数 186人 ②年間延べ利用者数 11,801人
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 47,162,217 2 支出 人件費 41,059,938 管理費 3,843,923 事務経費 2,146,945 その他経費 2,792,948 合計 49,843,754 3 差引 -2,681,537
サービス向上の取組	環境整備の推進。アクションプランシート(行動目標)の作成。こども文化センター及びわくわくプラザ実践集の作成。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	順調に事業の推進が図られているか	10	5	10
	事業成果	こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか	5	5	5
わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか					
(評価の理由)アクションプランシートを作成する等、施設目的に沿った事業実施ができるよう工夫していた。また、こども文化センター及びわくわくプラザ実践集を作成し、優れた事例を研究することで、行事等の充実を図っていた。特色ある行事としては、地域の農家の協力により、野菜を育て収穫し、調理する農業体験を実施していた。また、特色ある行事として、中学生・高校生対象にダブルダッチ教室やストリートダンスクラブを実施し、発表や地域の子どもたちとの交流の機会を持った。こども文化センターの利用者が管理委託時(H17年度)と比較し、30%以上増加した。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出がなされているか(収支バランスが取れているか)	5	3	3
		支出に見合う効果が得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組がなされているか			
(評価の理由)金銭管理・会計手続について適切に行われた。支出額と指定管理料を比較すると5%の赤字となったが、法人全体では概ね提案どおりの経費執行であった。					
サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	5	3	3
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会が実施されているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会が実施されているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携が図られているか	10	3	6
利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	5	3	3	
	把握したニーズが事業運営へ反映されているか				
(評価の理由)保護者懇談会、運営協議会、子ども運営会議等を定期的に行い、児童・保護者・地域の方々の意見や要望を収集して事業運営に反映させた。また、館内に意見箱を設置するなどして利用者のニーズを把握し、図書及び遊具の充実を図るなど常に質の向上を念頭に置いたサービスの提供に努めた。近隣中学校へのたより等の配布や乳幼児親子を対象とした専用の掲示板とパンフレットスタンドを設置するなど積極的な広報に努めた。					

組織管理体制	適正な人員配置	こども文化センターにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	4	8
		わくわくプラザにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか			
		事業の目的を考慮した適正な職員(児童福祉施設最低基準)が採用されているか			
職員の研修体制	予定していた研修が実施されているか	5	4	4	
	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか				
個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	5	3	3	
(評価の理由) わくわくプラザ利用の障害児対応に当たり、巡回相談員を配置し、スタッフへの適切な助言をすることによって、適正かつ効率的な職員配置がされていた。また、市主催の職員研修に多くの受講者を出席させるとともに、提案を上回る効果的な研修を数多く実施し、多くの職員のスキルアップを図った。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全確保のための体制(マニュアル整備等)がとられているか	5	4	4
		事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか			
	防犯対策	緊急時のマニュアル等が整備されているか	5	3	3
		・施設の防犯のための工夫がされているか			
災害時の対応	災害発生時のマニュアル等が整備されているか	5	3	3	
	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか				
(評価の理由) 施設・設備の安全点検を実施し、トイレの修繕など利用者が快適に利用できるよう修繕を実施するとともに、テーブル兼用座卓の入替等、環境整備に努めていた。また、新型インフルエンザの感染防止を図るため、こども文化センター及びわくわくプラザに空気清浄機を設置し、引き続き利用者の安全確保に努めていた。3月11日の東日本大震災発生の際も利用者の安全第一の対応を行い、負傷者等を出さなかった。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

昨年度に引き続き指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。

事業実施に当たっては独自のアクションプランシート(行動目標)を作成し、進捗状況を管理するシステムを構築するなど指定管理団体独自の工夫を行っていた。また55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、各施設を統括する本部職員の配置による効率的な管理体制を組んでいることや、安定した経営を行っていたことは評価できる。今年度は特に3月11日の東日本大震災発生の際も利用者の安全第一の対応を行い、負傷者等を出さなかった。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、こども文化センターの利用者が利用しやすい環境の整備に努め、児童が安全で安心して過ごせるわくわくプラザの運営に努めること。